

平成29年度学校自己評価システムシート (県立深谷はばたき特別支援学校)

目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の障害特性や発達段階に応じたキャリア教育を推進する学校 ・共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進拠点の役割を果たす学校 ・教職員が専門性とチーム力を発揮して子どもが生き生きと学べる学校
--------	--

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 1 児童生徒一人一人が主体的に学び合える指導・支援の充実 2 各学部のつながりのあるキャリア教育及び自立活動の充実 3 インクルーシブ教育システム構築に向けた支援体制とセンター的機能の充実
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	10名
	生徒	1名
	事務局(教職員)	6名

学 校 自 己 評 価					29年度評価(2月1日現在)		
年 度 目 標					達成度	次年度への課題と改善策	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況		
1	<p>○昨年度から全校で共通の発達検査や外部専門家を招聘した授業の質的向上に取り組んできた。今後は新たな学習指導要領実施を踏まえ児童生徒の指導・支援の充実が課題である。</p> <p>○教育内容を充実するため、保護者アンケートを実施してきた。より教育活動の評価改善につながるようなアンケート内容の充実が今後の課題である。</p>	<p>教員の指導力の向上</p> <p>保護者アンケートの改善</p>	<p>①太田ステージ評価や感覚統合の視点による観察等を活用し、児童生徒の障害特性等に応じた指導・支援の充実を図る。</p> <p>②外部専門家の指導助言や学部間の授業見学会により、児童生徒の主体性や学び合う力を育む授業づくりや支援方法等の改善に取り組む。</p>	<p>①発達検査を活用した指導支援が進められたか</p> <p>②授業づくりの課題や支援方法を見直し、主体性を引き出す指導、支援ができたか</p>	<p>児童生徒全員に発達検査の実施と活用、外部専門家の指導助言を受けながら、教員の指導力の向上が図れ、日々の指導・支援が充実した。</p> <p>①②太田ステージ評価を中心に児童生徒の発達段階を把握した指導、外部専門家の指導助言(2回)を活かした指導等から、児童生徒の主体的活動に繋げる実践が152事例、提出があり、認知発達に対する知識と理解が深まりつつある。</p> <p>①保護者から教育活動に対する評価・意見をより把握すべく、アンケート項目の細分化(8から19項目)により、回収率が上がり(76%から78%)、焦点を絞った把握に繋がった。</p>	B	<p>①②認知発達に対する知識と理解をより深めるため、発達検査の結果を効果的に活用できるよう研修会等を実施する。また、主体性を育む支援の充実を図るため、児童生徒の主体的活動に繋げる実践事例を活かして、指導・支援を継続して進めていく。</p> <p>①質問の趣旨が具体的に保護者に伝わるよう、保護者アンケートの質問項目の文言を修正・改善し、保護者評価を、さらに教育活動に反映させるアンケートにする。</p>
2	<p>○開校以来、キャリア教育の視点を踏まえた研究実践を積み重ね、学校全体の取り組みとして浸透してきている。昨年度までの成果と課題を踏まえ、小・中・高等部のつながりのあるキャリア教育及び自立活動をさらに充実させていく必要がある。</p>	<p>キャリア教育の充実</p> <p>自立活動の充実</p>	<p>①研究テーマに「児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育の充実を目指して」を設定し、実践研究を行い、教育課程の検証・改善を進める。</p> <p>②「自立活動の指導計画」を活用し、知的障害の発達課題を踏まえた自立活動の授業を自立活動部と連携しながら進める。</p>	<p>①実践研究から、教育課程の改善を図ることができたか。</p> <p>②個々の児童生徒のニーズを捉え、根拠に基づいた指導を進めることができたか。</p>	<p>テーマに沿い、研究部を中心にキャリア教育に関する研修を進めた。</p> <p>①研究を踏まえ、中学部重複学級では教育課程を複数化・自立活動の授業の増加、高等部では午前と午後の日課表の時間配分を変更するなど、教育課程を改善した。</p> <p>②「自立活動の指導計画」の作成と活用により、確かな児童生徒の実態把握と授業実践に繋がり、自立活動の充実が図れた。</p>	A	<p>①②今年度の実践研究の成果と課題を踏まえ、更なるキャリア教育の充実を目指し、主体性を引き出す支援・子ども達同士の関わりを大切にしたい支援について、より研究を深め、新学習指導要領の実施に向けた教育課程の改善と指導・支援の質的向上に繋げる。</p>
3	<p>○昨年度までの実績を踏まえて地域連携による一貫した教育支援及び多様な学びの場を更に充実させていく必要がある</p> <p>○地域に貢献する学校をさらに推進するために、効果的な情報発信や地域への奉仕活動や事業等への参加を充実させていく必要がある</p>	<p>センター的機能の一層の充実</p> <p>情報提供と地域奉仕の充実</p>	<p>①支援籍学習において、実施上の効率化をより進めながら拡充を図る。</p> <p>②早期支援、小中高支援、就労支援、相談支援等を適時適切に実施する</p> <p>③市町教委等と連携しながら本校の就学相談体制を構築する。</p>	<p>①効率化策を適切に進めながら効果的に実施できたか。</p> <p>②幼児児童生徒の教育的ニーズや保護者の願いに応えた支援ができたか</p> <p>③本校独自の就学相談が円滑に進められたか</p>	<p>センター的機能の充実と効果的な情報発信、地域奉仕の参加により、貢献活動を一層進めた。</p> <p>①ボランティアの有効活用(在籍校での後補充など、35名登録500回以上)、両校の打ち合わせの一括実施等で支援籍学習(通常学校支援籍小中学部53名38% 特別支援学校支援籍11名)を効果的に進めた。</p> <p>②早期支援(年間9回18組)小中学校支援(302件)高校支援(12件)を実施し、保護者や教員等へ特別支援教育に関する相談・支援や幼児児童生徒への指導・支援に繋がった。</p> <p>③新たに教育支援相談会(夏季休業中2回34名)を実施、事前に保護者への情報提供が行われ、就学相談が円滑に実施できた。</p> <p>①ウェブサイト更新を校内体制の整備、各学部HP担当と連携することで、即時的な発信・内容の充実が図れた。</p> <p>②地域頒布活動(10回)清掃活動(4か所)の参加を通し、地域貢献活動がより進んだ。</p>	A	<p>①支援籍学習の更なる充実のため、ボランティアの拡充を図るとともに、地域の障害のある児童生徒に対し、支援籍学習実施に関する福祉サービス等の情報提供やニーズに応じた相談支援を進める。</p> <p>③今年度の就学相談の成果を踏まえ、各関係機関と連携し、保護者への情報提供を具体的に進めるため、学区地域連携会議、教育支援相談会を充実させる。</p> <p>①②ウェブサイトによる情報発信を充実させるため、定期的な更新を進める。地域頒布活動への参加、清掃活動などを継続し、地域貢献活動を一層進める。</p>

学校関係者評価	実施日 平成30年2月15日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業づくりに関しては全員参加型の研修がなされており、とても良い。 ・システムシートの取組状況の資料から先生方が努力し、様々なことに取り組んでいることが見えてくる。生徒が変わるには教師の意識が変わることが大切である。良い取り組みだった。 ・今年度は保護者の要望を受け、PTAと連携した進路研修会や自立活動の実技演習などの取組が実現した。引き続き要望を出しやすい環境をお願いしたい。 ・保護者アンケートは分かりやすく、答えやすくなっており、評価も高く良い。回収率が高いのは良い方向に向かっているということである。さらに具体的に文言を改善していけると良い。 ・企業が求める力を保護者に情報提供できているかどうか、アンケートなどから掘り起こせると良いと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・取組状況から目標→課題⇒実践の流れがよくわかる。各学部の実践研究の内容も私たちに伝わってきている。このことから、子ども達への指導が良い方向に向かっていることを示していると思う。 ・全ての教員が自立活動の指導計画を作成・活用することで、自立活動の授業実践が向上したことはとても良いことである。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学生にとってボランティア活動は校外での学習の一環となるので、ぜひ学生にボランティア募集の声掛けをお願いしたい。 ・特別支援学校支援籍を実施する場合、保護者が送迎するなど、大変な部分が多い。その点が軽減されれば、他校保護者の児童生徒が転学・進学する際の様々な情報収集に繋がるとの声を聞いている。 ・就学相談については課題を整理し、一層の充実を図ってほしい。 ・教育支援相談会は直接先生方と話ができ、有効な取り組みであったと参加者から話を聞いた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校の取り組みとして便りやHPでの情報提供、清掃活動、地域行事の参加など引き続き行ってほしい。 ・公民館の清掃活動にはいつも感謝している。